

## 第49回 病態生化学セミナー

日時：平成23年6月14日（火曜日）午後6時00分～

場所：医学部 図書館3階 視聴覚室

演題：遺伝子変異マウスを用いた、高次脳神経機能から疾患研究へのアプローチ

演者：宮崎大学 医学部 教授  
高宮 考悟 先生

遺伝子変異マウスを使用する研究は、現在大変幅広い分野においてさかんに行われており、分子レベルの研究と個体レベルの研究をつなぐ非常に強力な実験アプローチ法である。すでに樹立されたマウスを入手して、自分の実験に使用する場合や、実際にトランスジェニックマウス、ノックアウトマウス、コンディショナル ノックアウトマウス、ノックインマウスの中から、自分の実験の目的に応じたマウスを自ら作成し解析する場合もある。しかし、その作成には多大な労力、時間、コストを要し、そのプロジェクト開始には、なお慎重にならざるを得ない。

今回のセミナーでは、これらマウスの作成にあたり、その基本的な作成法と時間が許す限りで、実際のマウスの解析例を紹介する。【高宮 考悟】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp